

はねっと 12

仙台市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



仙台をワクワクさせる人物をご紹介します

仙台から、eスポーツが 発展する未来を描く

BASARA GAMING 所属
ぶよぶよプロプレイヤーかぐう

ちだ きょうへい
千田恭兵さん(32)

千田恭兵さんは、パズルゲーム「ぶよぶよ」のプロプレイヤー「かぐう」として活躍しています。プロプレイヤーとは、ゲーミングチームに所属し報酬を得るeスポーツプレイヤーのこと。eスポーツとは、エレクトロニック・スポーツ (electronic sports) の略称であり、ビデオゲームをスポーツ競技として捉える際の名称です。千田さんは、ぶよぶよを通じて、仙台にeスポーツ文化を根付かせようと、仙台在住のプレイヤーとして腕を競う大会に出場。また、複合商業施設では、幅広い層の人たちに自らの腕前を披露して会場を沸かせ、ぶよぶよの面白さを伝えています。

千田さんがプロを目指したのは、「地元仙台で切磋琢磨できる強い仲間が欲しかったから」。自分が有名になれば、様々な人から声がかかり対戦の申し込みが増えるだろうと、大会に出ては自分の名前を売り、仙台のゲームコミュニティを強化しました。2019年「いきいき茨城ゆめ国体」では、ぶよぶよの宮城県代表に選出され、2020年3月には大阪のゲーミングチームに所属。ゲーミングチームの多くが東京にあり、東京在住のプロが多い中、千田さんが仙台に住み続けたのは、「地方にいても強くなる道筋は同じ」と考えたからです。しかし、プロになり、オンライン中心での活動になったことで、地域に関わる機会が減少。「地域に、eスポーツを根付かせたい」という思いが、より強くなりました。そんな時、仙台からeスポーツを発展させようとしていた株式会社バサラの社長から移籍の誘いが舞い込み、2020年8月、株式会社バサラBASARA GAMINGへと移籍しました。

「これからは、ぶよぶよをプレイする楽しさを伝えと共に、チームとして仙台からeスポーツを盛り上げていきたい」と、熱を込めます。



株式会社バサラ

2020年5月に設立。「東北からeスポーツを盛り上げていく」というテーマのもと、ゲーミングチームBASARA GAMINGを運営しています。eスポーツで地域を活性化させ、eスポーツのスターを生み出します。

HP▶



ぶよぶよプロプレイヤーかぐう

Twitter▶





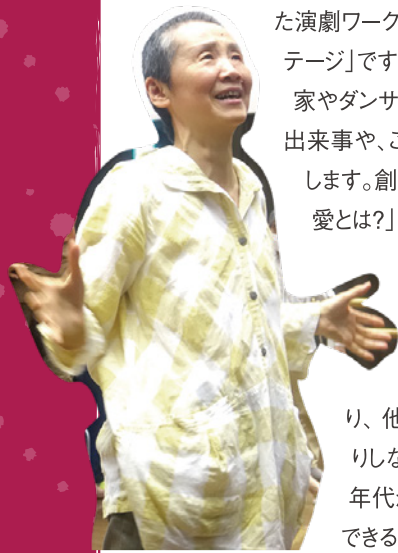
市民活動突撃レポート！

違いが響き合う表現の楽しさを どんな人にも届けたい

おおかわら ふゆこ

PLAY ART! せんだい 共同代表 大河原 芙由子さん

「PLAY ART!せんだい」は、誰もが楽しく演劇やダンスに関わる機会をつくろうと、市民とアーティストをつなぐ様々な企画を運営しています。その一つが、50歳以上の演劇未経験者を対象とした演劇ワークショップや公演を行う「50歳から輝くステージ」です。参加者は役を演じるのではなく、演出家やダンサーの力を借りながら、自身の日常にある出来事や、これまでの人生を物語に仕立てて表現します。創作の元になっているのは「あなたにとって愛とは?」「人生で最も後悔したことは?」などの問いかけ。人によって答えや表現の仕方は様々で、自分の周りだけの狭い世界には分からないことばかりです。参加者は、新しい自分を発見したり、他者との違いを認めるヒントにつなげたりしながら、表現することを楽しんでいます。年代が限定されていることで、安心して参加できるのも魅力。「年齢に対する周囲の視線



や、若い人に遠慮することなく、新しいことに挑戦できる」と喜ばれています。

共同代表の大河原芙由子さんは「職場・地域・家庭など、どんな人も社会の役割の中で生きている。役割から解き放たれ、普段言えないことでも自由に言えるのが演劇の良さ」と話します。様々な企画を運営する原動力は「きっかけがなければ、演劇やダンスに関われない人たちとも、表現する楽しさを共有したい」という思いです。高齢者の他にも、障がい者や外国人など、社会的に弱い立場の人を排除せず、違いをありのままに受け入れられる社会を、演劇やダンスの力を使って目指しています。

PLAY ART! せんだい

HP▶



サポセン蔵書から活動に役立つ書籍をご紹介します。

アイスブレイク入門 ころをほぐす出会いのレッスン

「アイスブレイク」は、ワークショップなどコミュニケーションを円滑にしたい時に用いられる、緊張や不安で固くなった心を解きほぐす手法です。この本では「自己紹介」「他者を知る」「共同作業」の要素をそれぞれ取り入れた28種類のアイスブレイク術や、進行をスムーズにするための準備の仕方などが、まとめられています。ワークショップの場だけではなく、市民活動や職場などの幅広い場面で役立つ一冊です。

著者 今村 光章

発行 株式会社解放出版社



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 12月8日(水)、22日(水)
年末年始の休館日 12月29日(水)～1月3日(月)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00
日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。
ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者: 特定非営利活動法人
せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2021年12月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

